

年 組 名前：

食品ロス 最少570万トン 政府19年度推計

表が遅い」との批判を受け、時期を見直した。

政府は30日、まだ食べられるのに捨てられた「食品ロス」が2019年度に570万トン発生したとの推計を発表した。前年度から30万トン減り、推計を始めた12年度以降、最少となった。減少は4年連続で、初めて600万トンを割り込んだ。

内訳は、家庭からの排出が15万トン減の261万トン、飲食店やコンビニなどの事業者が15万トン減の309万トン。

山口壮環境相は記者会見で「減少の要因は一概には言えないが、国民運動として削減に取り組んだのが大きい」と説明。

30年度までに00年度比で半減の489万トンとする政府目標に触れ「このペースで削減を続けるのは容易ではないが、積極的に取り組んでほしい」と国民に呼び掛けた。

食品ロスの推計は今年4月に18年度分を発表したばかりだが「発

(2021年12月1日付 山梨日日新聞21面)

問1

まだ食べられるのに捨てられた「食品ロス」が2019年度にA万トン発生し、前年度からB万トン減りました。C年連続の減少で、初めてD万トンを割り込みました。A～Dに入る数字は何ですか。

- A 「 万トン」 B 「 万トン」 C 「 年連続」 D 「 万トン」

問2

減少の要因として、どんなことが考えられるのでしょうか。

.....

問3

食品ロスを防ぐため、あなたが日ごろ行っていること、また心掛けたいと思っていることを、いくつか書いてください。

.....
.....
.....